

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

# F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 中小企業経営者必見!!  
～意外と知らない補助金事情～

Vol. 46



公益財団法人 ふくい産業支援センター



もともと客室だったところを食事処に改装。廊下では旧宴会場の舞台にあった昔ながらの壁板が見れます。



このたびの改装で収容人数が計約70人になった食事処は、宿泊客はもとより接待係にも好評だそうです。「部屋食の場合、ふすまの開け閉めや座卓への配膳など、体に負担のかかる上下の動きが増えます。テーブル席の食事処だと、料理を個室ま

「接客係の体力的負担も軽減」「働き方改革」の一環にも補助金事業を経営に生かしてきた経験から、平山氏は、補助金申請を検討する経営者に向け「補助金ありき」で事業を考えるのは本末転倒では」と助言します。「弊社の場合、食事処の拡張を考えていたところに補助金事業のタイミングがたまたま重なっただけです。補助金を受け取れることを前提にしまうと、どうしても事業計画が後付けになってしまう。例えば改装にしても、補助金がなくてもできるよう、前もって事業計画を立てておくことが望ましいのではないのでしょうか」

創業から137年となる同社の5代目を務める平山氏。国内の旅館の洋風化を引き合いに、「自分が行きたくなる『いい旅館』をつくりたい」という思いが仕事を続けるモチベーション。靴を脱いで上がるという日本旅館の良さはこれからも残し

「設備更新や省エネルギー診断など、今までも補助金事業を活用したことはありました。今回の申請でも事業計画書など書類をまとめていきましたが、自分一人で準備を進めていきました。」

「第2期工事」で、個室食事処4部屋分の改装、テーブル・椅子セットなどの費用に補助金を充てました。平山氏はこう振り返ります。

「もともと改装の構想はありました。昨年の緊急事態宣言を受けて一時休業を決めた時、休業期間中に食事処の部屋数を増やそうという話に



客室はすべて木造で、一つとして同じ部屋はありません。



「いきないうすね」と話し、緊急事態宣言解除以降の客足の戻りに期待の表情を見せます。

## CASE 1

# 個室形式の食事処を設け、顧客満足度の向上を図る

## 株式会社つるや

あわら温泉にある、明治17年創業の老舗旅館「つるや」。同社は来客の傾向が少人数の個人客になってきたことなどを背景に、昨年、県の『おもてなし産業魅力向上支援事業（店舗改装・設備導入）』を活用し完全個室形式の食事処を拡張しました。接待係の担い手不足が課題となる中、就労環境改善につなげる狙い



もあるというこのたびの改装。代表取締役・平山泰弘氏に補助金活用の経緯を伺いました。



代表取締役社長  
平山 泰弘氏

同社HPはコチラ!



所在地:あわら市温泉4-601  
代表者:平山 泰弘氏  
事業内容:旅館業  
TEL 0776-77-2001

### かねて構想の改装プランに補助金の助成要件が一致

同社の宿泊客は、こじんまりした温泉宿でのくつろぎを求める50代以上が大半。年配者が多いことから、着座時の負担にならないようなテーブル席での食事のニーズも年々高まっています。

そこで同社では3年前、西本館2階にあった50畳の広間と客室のスペースをテーブル席の食事処に改装し、部屋食からの転換を行いました。大広間について立ててやるようなつくりではない完全個室形式で、宿泊者のプライバシーが保てる構造となっています。

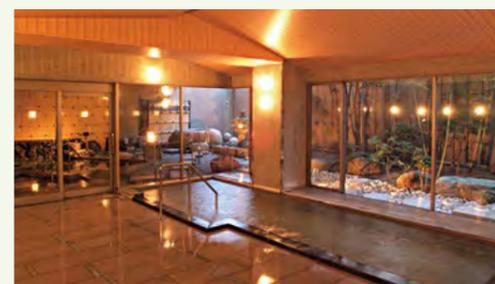
今回の改装はいわばその「第2期工事」で、個室食事処4部屋分の改装、テーブル・椅子セットなどの費用に補助金を充てました。平山氏はこう振り返ります。

「もともと改装の構想はありました。昨年の緊急事態宣言を受けて一時休業を決めた時、休業期間中に食事処の部屋数を増やそうという話に

なったんです。そんな折、地元商工会の会報誌で知ったのが補助金の話でした」

4月から6月ごろを予定していた改装時期を秋に繰り下げることになり、補助金にかかる申請書類の作成をスタート。6月から7月にかけて、ふくい産業支援センターの登録専門家である中小企業診断士とやりとりしながら準備を進めていきました。

「設備更新や省エネルギー診断など、今までも補助金事業を活用したことはありました。今回の申請でも事業計画書など書類をまとめていきましたが、自分一人で準備を進めていきました。」



熱交換により温度調節したかけ流しの天然温泉に入ることができます。熱は給湯や床暖房に利用されています。

めるのは大変だろうと思いましたが。産業支援センターの登録専門家さんのように伴走してくれる人がいると何かと心強いですね」

## Contents

- 1 【企業事例①】 株式会社つるや
- 3 【企業事例②】 株式会社長兵衛
- 4 【企業事例③】 株式会社シンカイ
- 5 中小企業経営者必見!! ~意外と知らない補助金事情~
- 7 【企業事例④】 生き生き相談センター
- 8 【企業事例⑤】 株式会社北善商店・酒蔵善六
- 9 【企業事例⑥】 bistro Un
- 10 令和3年度 各種補助金募集情報
- 11 よろず支援拠点 相談ノート
- 12 Start a New Project
- 13 今月の注目企業 セーレンKST(株)
- 15 こんにちは。FOIPです。
- 16 グッドデザインシンキング
- 17 総合相談
- 18 IoT導入事例の紹介
- 19 インフォメーション
- 21 新スポット巡礼

## CASE 3 企業の新たな分野展開を補助金が後押し リハビリ難民の受け皿を作る

### 株式会社シンカイ

福井市丸山1丁目にある、株式会社シンカイが一昨年、『新分野展開スタートアップ支援事業』などを活用し、脳梗塞リハビリセンター「達成人」を設立させました。補助金活用の経緯を同センター マネージャーで理学療法士の田中玲多さんにお話を伺いました。



「達成人」マネージャー  
田中 玲多氏



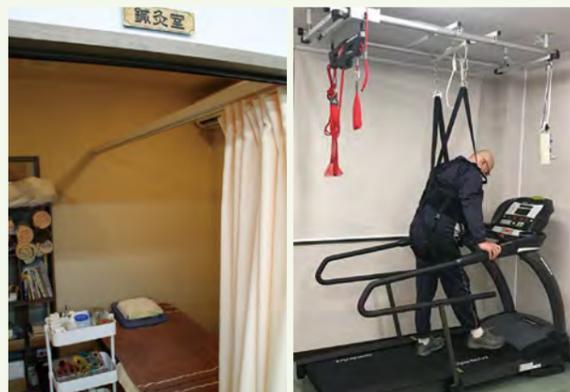
本社HPはコチラ!



達成人HPはコチラ!



所在地:福井市丸山2丁目1405番(本社)  
福井市丸山1丁目1115(達成人)  
代表者:中村 達夫氏  
事業内容:訪問看護、介護事業所、サービス付き  
高齢者向け住宅、リハビリ施設運営等  
TEL 0776-52-5540(本社)/0776-53-1580(達成人)



日本では珍しく、鍼灸室も併設しています。リハビリの本場ヨーロッパから輸入したマシン。実はヨーロッパでは当たり前。下半身麻痺患者のリハビリの様子。

**脳梗塞後遺症に特化したリハビリで挑戦**  
1999(平成11)年に創業した同社はメディカル事業と不動産事業を手掛け、メディカル事業として「訪問看護」、「小規模多機能型居宅介護事業所」、「サービス付き高齢者向け住宅」などを運営し、高齢者の生活を総合的に支援しています。  
訪問看護の一環として在宅リハビリを提供する中で、医療・介護保険の適用範囲内サービスと利用者の求めるサービスとのミスマッチがあることに気づきます。「リハ

ビリサービスの利用者には比較的若い方もおられ、脳梗塞の後遺症に悩んでいる方が少なくありません。そのような方が求めるのは、「現場に復帰すること」。しかし、医療保険や介護保険によるリハビリでは、「正直「現状維持」が精いっぱいでした」と田中さんは保険適用内リハビリの限界を語ります。そこで設立されたのが脳梗塞後遺症に特化したリハビリセンター「達成人」です。

#### 短期集中型のリハビリ施設

施設の実現には大きな課題がありました。それは事業の要となるリハビリ専用マシン一つ一つが高額であることです。納得いくサービスを提供するにはリハビリ先進国と言われるヨーロッパで使われているマシンの購入が必要だったのです。「一つ100万円以上のマシンがほとんどでした。福井県初となる本事業に対してここまでコストをかけたのもよいか。今後についても不安がありました」と田中さん。

そこで目を付けたのが今回の補助金です。同社にとって初めての補助金申請になりましたが、商工会議所の支援を受けながら事業計画をブラッシュアップすることで、採択へとつながりました。  
**利用者の「夢の達成」を支援**  
設立した2019年から2年が経ち、徐々に利用者は増えていく中、「もつと早く知りたかった」「なぜ今まで自分に紹介されなかったのか」という声がほとんどで、「これから必要なサービスだ」と医師からの太鼓判をもらうほどでした。  
しかし、充実したリハビリプログラムにより短期間で機能回復が望めるものの、連携している医療機関やケアマネージャーからの紹介がまだまだ少ないという現状。「周りの方からありがたい言葉をいただいています。まだまだ達成人が浸透していません。『保険適用外』の『高額費用』という認識の壁があるからではないでしょうか」と田中さん。「今後は販路開拓(紹介ルート)の強化」が喫緊の課題です」と表情を引き締めます。

## CASE 2 補助金活用を成長の場に コロナに負けないメンタル強化

### 有限会社長兵衛

敦賀市名子にある、「敦賀さざなみリゾートちようべい」を運営する有限会社長兵衛が一昨年、『おもてなし産業魅力向上支援事業(店舗改装・設備導入)』などを活用して旅館の改装を行いました。当補助金に目を付けた、同社代表取締役の山本敬子さんに補助金活用の経緯を伺いました。



代表取締役社長  
山本 敬子氏



同社HPはコチラ!



所在地:敦賀市名子14-43-3  
代表者:山本 敬子氏  
事業内容:宿泊業等  
TEL 0770-23-7818

**海に面したリゾート地「ちようべい」敦賀さざなみリゾート**  
2002(平成14)年に「喫茶店」「貸しボート屋」だった同社が「海辺の宿長兵衛」として宿泊業に参入しました。全室海が見渡せるよう工夫した客室に、人気観光スポットの「水島」や「水晶浜」、「松原海岸」から近い好立地、目の前に広がる海はプライベートビーチとして楽しめることが特徴で、夏は海水浴レジャーを目的に、また冬は蟹ふぐグルメを楽しむ観光客が訪れ、宴会場としても地元客に利用されています。今年春からは「敦賀さざなみリゾートちようべい」として新しくスタートします。  
**大規模改装で補助金を活用**  
「老朽化と時代の変化、お客様のニーズにあわせて少しずつ旅館内を直してきました。他の旅館との差別化を図りたい!と都度改装を続けてきましたが、お客様に美しく整った設備で快適に過ごしていただきたいと思い、大きな改装を計画していたところで補助金に出会えました」と山本社長は当時を振り返ります。

長は当時を振り返ります。もともと白基調だったテーブルダイニングの食事は、藍色基調のシックで落ち着いた雰囲気。一方、大広間は自然光が入る明るい空間に生まれ変わりました。令和2年7月に開始した「GoToトラベル」で7月〜12月は予想を超える盛り上がりを見せ、今回の改装が顧客満足度に大きく貢献しました。  
**補助金は最近知ったんです!**  
山本社長は悔しそうな面持ちでこう語ります。初めて補助金を意識したのは取引先からの勧めがきっかけでした。過去の補助金を調べると該当するものがいくつかあったそうです。その悔しい経験から、同社は商工会議所と連携を密にすることで、今回の補助金申請に至ったのです。  
経営者として会社を見直す良い機会にもなったと山本社長は続けます。「普段、目の前の仕事に追われ、会社を見

直すことができていませんでした。これからの計画や経営方針を立てやすくなり、経営の悩みが減りました」と目を輝かせて語ります。  
同社はコロナ禍で、事業規模の縮小を決意しました。「今は確かに厳しい状況ですが、組数を制限することでより丁寧なおもてなしができ、人員を減らすことでお客様の声を直接聞けたり旅館を営んでいる実感が得られたりと、お客様の満足度向上にもつながっていることが感じられ、悪いことばかりではありません。今だからこそ出来るアフターコロナを見据えての、ちようべいスタイルを構築し、これからは「選ばれる宿」を目指していきたいです。」と山本社長は前向きな姿勢です。



(上)改装したテーブルダイニング。シックで落ち着いた雰囲気に。(下)夏にはテラスでのバーベキューが名物です。

補助金を受け取るメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>●まとまった額の資金調達になること</li> <li>●事業計画の見直しや整理ができること</li> <li>●事業に一定の評価が得られること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●申請から受け取り、その後までに作成する書類の事務負担が大きいこと</li> <li>●公募期間が短いこと</li> </ul>

デメリットを  
知っておくことも  
大切です!

資金支援G 乾さん



**西村次長** 補助金を受けるにあたり、申請から完了にかかる事務作業の負担が一番のデメリットなのではないかと思えます。申請段階での事業計画書作成、採択後から事業完了までに必要な「申請・報告」、加えて多くの場合、補助金の交付後から概ね5年間は、「成果報告書」を提出する義務があるなど、多くの書類を作成・提出しなければなりません。さらには、補助金に関連した経理書類についても、普段は行わないようなものについても書面で残すなど、必要な書類を整理してもらう必要があります。

**補助金あるある**  
補助金の窓口を担当して気づいたことや思ったことについて、吉田さんと鈴木さんにお話を伺いました。  
**吉田さん** 私が今まで担当してきた中でよくあったのは、補助対象とならないうえに、費用が実際には対象にならなかったことです。例えば、申請前からすでに支払いが完了してしまつた費用や申請した事業内容と関係のない費用

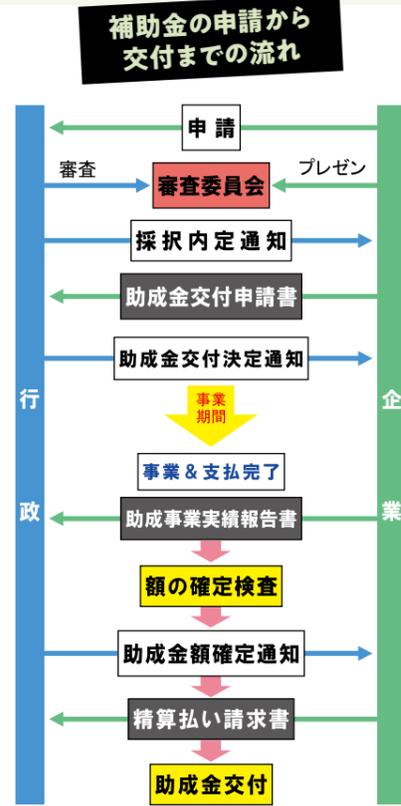
「告知書」を提出する義務があるなど、多くの書類を作成・提出しなければなりません。さらには、補助金に関連した経理書類についても、普段は行わないようなものについても書面で残すなど、必要な書類を整理してもらう必要があります。これらの作業が企業の負担になることは承知しておりますが、正当な手続きにより補助金をお支払いするためにもぜひご理解ください。  
このようにいいことばかりではないことを事前に知っておくことも大切です。

**知らないなんてもったいない!!**  
いかがでしたでしょうか。補助金情報を知らないばかりに損をするほど、もったいない話はありません。これを機に興味を持たれた方は、「自社が支援の対象に該当するか」「事業計画書等の必要書類を作成したいけれどどうしたらよいか」といった壁に必ず当たるとおもいます。そんなときにこそ、当センターの「総合相談窓口」や「福井県よろず支援拠点」をご利用ください。補助金情報の紹介や事業計画書の書き方・ブラッシュアップといった申請に必

などが挙げられます。  
**鈴木さん** 他には、補助金を受け取れる時期が結構遅いです。基本的には補助金は、事業にかかる経費は先に事業者が負担し、事業終了後に精算するものです。「先にお金を受けて取り事業費に充てる」と思っている方もいらっしゃるかもしれません。補助金に採択されたからといって、すぐに資金繰りが改善するわけではありません。ぜひ注意が必要です。

中小企業経営者必見!!

~意外と知らない補助金事情~



中小企業・小規模事業者は国内の企業数全体の99.7%を占めています。(経済産業省より)

そんな日本経済の主力である中小企業の更なる発展を目指し、国や県などは支援策として様々な補助金を用意しています。しかし、経営者によっては興味が無かったり、申請を敬遠したくなるような壁があったりして、中小企業の数のわりに補助金申請の件数が少ないように思えます。

そこで今回、当センターが扱っている補助金だけでも興味を持ってもらうため、補助金を受け取るメリットや意外と知らない豆知識について、当センターの資金支援グループにインタビューします。合わせて、実際に補助金を活用して、積極的に事業を展開している企業を紹介し、新年度に向けて、前向きな事業展開へのモチベーションアップにつなげることができればと思います。

**補助金とは何か**  
そもそも補助金とは、「要件を満たした企業からの申請を受け、審査に通った企業にのみ支給される、返済の必要がないお金」です。支給額では、限度額が200万円以上の高額なものが多いです。しかし、そんな補助金を活用する企業が少ない理由としては、以下の4つの理由が考えられます。  
●そもそも、補助金の存在を知らない  
●自社の企業規模では補助金をもらえないと思われる存在は知っているが、何が自社に当てはまるかわからない



資金支援G 吉田さん

●申請手続きが複雑で考えるのも疲れる。とても忙しくて対応できない  
一つでも当てはまる方、必見です!

補助金のメリットは資金面だけじゃない!

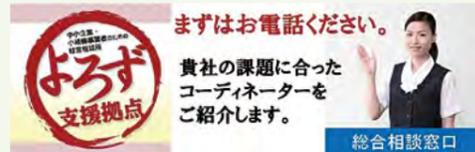
そう語るのは販路・資金支援部長の南さん。  
**南部長** 補助金の最大のメリットは、やはり設備投資や新製品開発の費用負担を軽減できることですが、事業計画を具現化できるというメリットもありです。中小・小規模企業では、日々の業務に追われて事業計画が何年も更新されていないケースや、経営者の頭の中にしかないケースがよくあります。しかし、補助金に申請するには、今後の事業計画をわか



資金支援G 鈴木さん

りやすくまとめて記載する必要があります。これを社員や取引先、金融機関などに向けた事業計画書のベースに活用し、情報を共有することで経営者の想いを伝えることもできます。  
もう1点、補助金に採択されるということは、企業の内容やこれからの事業計画が一定の評価を得たことを意味します。設備投資と事業計画とともにPRをして新規顧客獲得や新分野参入を果たした企業も少なくありませんので、積極的に活用していただけたらと思います。

「担当としては正直言いにくいのですが、こう切り出したのは同部の西村次長です。」  
**もちろんデメリットもあります...**  
実際に事業の見直し本誌P33ことや販路拡大にも活用している企業を紹介します。(本誌P76)



総合相談窓口  
P11、P17に支援事例や事業の紹介をしています。

要なサポートを受けることができず、採択されても進めるために各分野の専門家をご活用いただけません。補助金に頼らなくてもいいとお考えの方も、自分たちが補助金の対象となるかどうかだけでも知っておくと、心に余裕が出るのではないのでしょうか。  
原則として返済の必要がない補助金や助成金を効果的に活用することは、事業

発展には有効ですが、それにはしっかりとした準備が必要になります。今回ご紹介したメリット・デメリットを知った上で、補助金を積極的に活用し、自社の発展につなげてくださいます。

令和2年度実施補助金とその応募・採択件数一覧

補助金名	応募数(件)	採択数(件)
おもてなし産業魅力向上支援事業(店舗改装・設備導入)(P1~P3に紹介)	65	28
おもてなし産業魅力向上支援事業(商品開発)	6	4
ふるさと企業育成ファンド新分野展開スタートアップ支援(P4に紹介)	42	9
ふるさと企業育成ファンド創業支援	25	12
ふくいの逸品創造ファンド(P7に紹介)	9	9
ふるさと企業経営承継円滑化事業(ふくい老舗の逸品承継発展支援)(P8に紹介)	12	12
ふるさと企業経営承継円滑化事業(事業改善型)	12	7
ふるさと企業経営承継円滑化事業(承継準備型)	3	3
ふるさと企業経営承継円滑化事業(事業創継・再編統合支援)	2	2
U・Iターン創業支援事業(P9に紹介)	6	6
小規模事業者支援強化事業	67	65

次のページでは補助金に採択された企業に申請した経緯や活用した感想などを伺いました。

## CASE 5 観光業への期待を込めて 観光客誘致に向けた補助金活用

### 株式会社北善商店・酒蔵善六

南越前町今庄にある、「株式会社北善商店・酒蔵善六」が『ふくいの老舗逸品 継承発展事業』などを活用し、築300年の酒蔵を修繕しました。補助金活用の経緯について、代表取締役社長兼杜氏の北村啓泰さんにお話を伺いました。



代表取締役社長  
北村 啓泰 氏



同社HPはコチラ!



所在地:南条郡南越前町今庄81-3  
代表者:北村啓泰氏  
事業内容:日本酒製造・販売等  
TEL 0778-45-0016



(右)「聖乃御代」純米酒 北陸街道今庄宿  
(左)「華の香越前」

#### 酒蔵修繕に補助金活用

現在、今庄地区はトンネルなどの鉄道遺産が日本遺産に登録され、2020年11月には海岸沿いの水仙畑や集落の景観が重要な文化的景観に選定

酒蔵修繕に補助金活用  
現在、今庄地区はトンネルなどの鉄道遺産が日本遺産に登録され、2020年11月には海岸沿いの水仙畑や集落の景観が重要な文化的景観に選定

老舗中の老舗酒蔵  
同社は1716(享保元)年に創業し、現在十代目を受け継がれている、福井県の中でも屈指の老舗酒蔵です。同酒蔵を代表する銘柄「聖乃御代(ひじりのみよ)」をはじめ、「華の香越前(はなのかえちぜん)」など、20種類以上のお酒を製造しています。同社が位置するのは、江戸時代を通じて越前で最も栄えた宿場町「今庄宿」で、そこに位置する酒蔵はみな、山から流れる湧き水・雪解け水をお酒の仕込み水に使うという製造方法には驚かされました。

観光業への明るい兆し  
コロナ禍で観光ツアーが軒並み中止になる中、北村社長は観光業へこう期待を込めま

観光業への明るい兆し  
コロナ禍で観光ツアーが軒並み中止になる中、北村社長は観光業へこう期待を込めま

観光業への明るい兆し  
コロナ禍で観光ツアーが軒並み中止になる中、北村社長は観光業へこう期待を込めま



同店売り場に展示してある、勘定処の規約。  
1731(享保15)年に同社は金銀と藩札の交換を行う御礼場も務めていた。

## CASE 4 個人事業での補助金活用 事業の評価を得て販路開拓

### 生き生き相談センター

補助金に採択されたという一定の評価を得ることで、販路拡大に繋げている企業もあります。令和元年度『ふくいの逸品創造ファンド事業』に採択され、恐竜や越前ガニなどの観光資源をあしらった反射材シールの製造・販売に挑戦している「生き生き相談センター」代表の松村菜穂美さんにお話を伺いました。



自分で作る反射ストラップは子供たちにも人気の商品です。(写真は筆者が実際に作ったものです)



松村 菜穂美 氏

同社HPはコチラ!



所在地:福井市和田中1丁目1518  
代表者:松村菜穂美氏  
事業内容:高齢者向け健康コンサル等  
TEL 090-3166-4419

#### 補助金に採択され、 販路拡大につなげる



バス利用体験の様子。実際に体験した高齢者からは「わたしたちでも十分使える」と好評です。

補助金に採択され、販路拡大につなげる  
手掛けていたイベントやセ

補助金に採択され、販路拡大につなげる  
手掛けていたイベントやセ

補助金に採択され、販路拡大につなげる  
手掛けていたイベントやセ

補助金に採択され、販路拡大につなげる  
手掛けていたイベントやセ



今回開発した「福きらシール」(画像はフクイラブ版)他にも「福井の水産」や「年縞(ねんこう)」があります。

## 令和3年度 各種補助金募集情報

当センターでは、毎年様々な補助事業で県内企業の取り組みを資金面で支援しています。ここでは、新年度に募集が始まる事業についていくつかをご紹介します。(令和3年3月22日現在)

### 令和3年度の補助事業

※詳細は順次HPなどでお知らせいたします。予告なしに変更になる場合がございます。何卒ご了承ください。

**企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)化を支援するために、新たな補助金を用意されました!**

#### 5G通信環境を活用した実証事業補助金 **New!**

今後、市場の拡大が見込まれる5Gを活用した新たな製品やサービスの開発・実証を行う企業を支援します。

【補助率】1/2以内  
【助成限度額】1,000万円、募集件数:2件  
【公募期間】2021年4月上旬~6月上旬(予定)

#### IoT・AI・ロボット等導入促進事業補助金 **New!**

IoT・AI・ロボット等導入に要する経費の一部を助成することにより生産工程のカイゼンや付加価値を高める取組みを促進します。

- 《以下の公募期間》  
2021年4月上旬~6月上旬(予定)
- ①IoT普及枠…比較的安価に導入できるIoT等を活用して、生産性を上げる企業を支援します。  
【補助率】1/2以内  
【助成限度額】200万円  
**(2社以上が連携して導入する場合は、補助率:2/3)**
  - ②AI活用・先進型モデル枠…AIを活用した先進的な取組みを行う企業を支援します。  
【補助率】1/2以内 【助成限度額】1,000万円
  - ③ロボット導入枠…ロボットを導入する企業を支援します。  
【補助率】1/2以内 【助成限度額】1,000万円

#### IT導入支援補助金 **New!**

国のIT導入補助金を活用して社内システムの連携を実施する企業を上乗せ支援します。  
【補助率】1/2以内 【限度額】225万円×10件  
【公募期間】未定

お問い合わせ先  
(公財)ふくい産業支援センター  
新産業支援部 DX推進グループ  
TEL 0776-67-7400 FAX 0776-67-7429  
URL <https://www.fisc.jp/> E-Mail [ebiz-g@fisc.jp](mailto:ebiz-g@fisc.jp)

#### Uターン移住創業支援事業

県外から福井県内に移住し、本県の地域課題を解決するための社会的事業分野における創業を行う方に対し、その経費の一部を助成します。

【補助率】2/3以内 【限度額】200万円  
【公募期間】2021年4月1日(水)~2021年5月31日(月)(予定)

採択者には奨励金(最大240万円)を福井県より別途支給!

P9でご紹介した企業が活用した補助金です

#### おもてなし産業魅力向上支援事業

県外からの観光客等の受入れ態勢の改善等について、店舗の改装や設備導入、新商品開発など、観光客向けの新たな取り組みに対し、その費用の一部を助成します。

《以下の公募期間》未定

- ①店舗改装、設備導入  
【補助率】2/3以内 【限度額】300万円
- ②商品開発  
【補助率】2/3以内 【限度額】300万円

P1~3でご紹介した企業が活用した補助金です

#### ふくいの逸品創造ファンド事業(地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援)

地域資源を活かした商品開発や販路開拓を支援し、地域産業の活性化を図ります。

《以下の公募期間》未定

- (ア)地域資源を活用した新商品開発および販路開拓  
【助成率】中小企業1/2・小規模事業者2/3  
【助成限度額】200万円
- (イ)地域資源を活用し、直近3年以内に商品化した商品・新たに開始したサービスの販路開拓  
【助成率】中小企業1/2・小規模事業者2/3  
【助成限度額】100万円

P7でご紹介した企業が活用した補助金です

#### 新事業チャレンジステップアップ事業

ふくい型ベンチャー・エコシステム推進のため、高い成長意欲と優れた技術を持つ中小・ベンチャー企業の企業規模拡大に向けた新事業展開の取り組みに対して助成します。

【助成率】2/3 【助成限度額】500万円~600万円  
【公募期間】未定

お問い合わせ先  
(公財)ふくい産業支援センター  
経営支援部 資金支援グループ  
TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7419  
E-Mail [shikin-g@fisc.jp](mailto:shikin-g@fisc.jp)

## CASE 6

# まずは該当するか検索を 県外からの移住・開業にも補助金活用

### bistro Un (ビストロアン)

2020年5月、越前市の「タンス町通り」に新しくオープンしたフレンチ「bistro Un (ビストロアン)」。同店は『令和2年度 U・Iターン移住創業支援事業』などに採択され、開業資金や運転資金としてうまく活用されています。同店オーナーを務める、神奈川県出身の高田太賀さんに、補助金活用の経緯についてお話を伺いました。



オーナー  
高田 太賀氏



いました。

同店HPはコチラ!



所在地:越前市本町1-22  
代表者:高田太賀氏  
事業内容:フランス料理店  
TEL 0778-42-7123



同店イチョシ料理「生雲丹とズワイガニのアメリカヌクリームパスタ」

福井に可能性を見出し、移住・開業  
オーナーを務める高田さんは大学卒業後、飲食業界で働き始め、食の最先端と言われる東京・六本木で洋食と和食の店舗責任者を務め、担当した店舗が高収益を出すその手腕から、他飲食店オーナーから経営相談を受けることが多々あったそうです。そこで福井県で開業を目指すオーナーとの出会いから福井県に興味を持ち、移住に至ります。「子育てをきつかけに移住を決意しましたが、以前からコンサルで訪れていた際、福井県には伝統工芸や食材などのそこしか味わえない立派なコンテンツがあるのに、あまり多くの方に知られていない現状をもったいなく感じていました。

ました。そこで力になれたらと思い、自ら飲食店を開業しました」と高田さんは振り返ります。

#### 個人でも補助金は活用するべし

高田さんが補助金に興味を持ったのは福井県の取引先からの紹介でした。「それまで補助金については認識すらしていなくて、そもそも個人では受け取れないものだとはかり思っていました。調べてみると該当するものが意外とあるんですね。個人での開業はどうしても資金面で苦労するので本当に助かっています」と高田さん。同補助金では、採択者に「奨励金」が別途支給されています。

今回、個人として補助金を活用した経験から、高田さんは「補助金に採択された個人の方は、年度末の事務作業についてはよく準備したほうがいい」と助言します。「確定申告」などの年度末特有の忙しさに「補助金の報告書作成や補助金の検査」が加わりますので、それはもう一人こなすのは大変でした」と苦笑いで語ります。

#### ゆくゆくは地方創生に貢献

コロナの影響を受けながらも同店は、2020年6月~12月の半年で1万3000人の来客があり、好スタートを切っています。福井県の伝統工芸や食材を取り入れた「福井でしか食べられないもの」で、福井では食べられないものを提供する同店に福井県外のみならず、福井県民からの注目が集まっていることは確かです。

「かねてから思っていた福井県での『地方創生』に貢献したいです。先ず私にできることはこの店で雇用や消費を生むこと。ゆくゆくは観光業にも参入し、福井県民も福井県で観光したくなる。仕組み作りができればと思っています」と高田さんは意気込みを語ってくれました。



築100年の蔵とは思えない、オシャレな空間に改装

## ただの文具店ではない！ 地方発「エンターテイメント文具店」ホリタの挑戦

### 株式会社ホリタ

今、消費者ニーズは「モノからコトへ」シフトし、体験やストーリーを重視すると言われています。こういった消費行動の変化にいち早く対応していくことが、マーケティング戦略をとる上で重要です。

県内で成長意欲の高いベンチャー企業をご紹介しますシリーズ。5回目の今回は、老舗文具店ながらいち早く消費行動の変化に対応し、業界の常識を打ち破り挑戦し続ける、株式会社ホリタ（福井市）の事例をご紹介します。

#### 32歳で老舗文具店の3代目に

ホリタ文具は、創業70周年を迎える老舗文具店です。福井県内に5店舗を展開し、嶺北を中心に年間70万人もの人が来店します。現社長の堀田敏史さんは3代目で、2014年7月、32歳のときに社長に就任しました。

現在、ホリタ文具では、アートと知育の融合を目指した学び場「ホリラボ」や、子育てママがひと息つける場「ホリカフェ」、優れた文具を肌で感じてもらう体験イベント「ホリデモ」など、独自のサービスを展開。2020年12月にはBASEやYouTube、SNSを活用してオンラインでつながる「ホリコレ！」を開始するなど、オフライン（実店舗）とオンラインの両方を駆使しながら、お客様との「接点」を増やし、自社でしか味わえない「体験」価値の提供に挑戦しています。



#### 業界の常識を打ち破り、挑戦し続ける

祖父母の代から文具店を営み、生活の中に商売が根づいていたと話す堀田社長は、「子どもの頃から社長っていいなと思っていました」とふり返ります。大学を卒業後、大手証券会社勤務を経て、25歳で現会社に入社しました。

当時のホリタ文具は BtoBメインに文具を取り扱っており、ASKULやAmazonなどのECサイトに押されて売上がじわじわと



厳しくなっていました。「なにか突破口をつくらなければ、いずれは頭打ちになる」と考え、たどり着いた答えがBtoCへの事業転換でした。



代表 堀田 敏史氏

所在地 福井市大願寺3-9-1 E-mail info@horita-bungu.co.jp  
TEL 0776-23-1609 HP http://horita-bungu.jp/

堀田社長は強い決意のもと、粘り強く社員と理念を共有し続け、10年という長い時間をかけながら徐々にBtoCへと舵を切り、見事、地域に根ざした「なくてはならない」文具店へと生まれ変わらせたのです。

#### 地方発「エンターテイメント文具店」へ

しかし、堀田社長は挑戦の手を止めません。次に着手したのは、提案型文具店への転換でした。

「これまでは、たくさん商品を仕入れてたくさん売り場に並べることで、お客様にわくわく感と便利さを提供してきましたが、これからは、商品を購入した先に何があるのかを丁寧に情報発信していくことが重要だと考えています」

「今は、SNSや動画などを使って地方からでもどんどん情報を発信できる時代です。僕たちは、そういったツールを活用しながらお客様に『新しい文具の楽しみ方』を提案できる、地方発のエンターテイメント文具店を目指します」と堀田社長は力をこめます。



今回の事例はいかがだったでしょうか。モノ消費とは購入した商品の「機能」に価値を感じることで、コト消費とは購入した商品によって「得られる体験やストーリー」に価値を感じることを指します。「モノからコトへ」の消費者ニーズの変化は、ビジネスチャンスとも言えます。時代の変化を感じ取りながら、自社の戦略に取り入れていきましょう。

執筆者：ふるさと産業育成部 ベンチャー・EビジネスG 岡田 留理

## よろず支援拠点 相談ノート

事業構造の  
見直し編

### 原発関連の宿泊者に 依存していると厳しいことに気づく

若狭地方で原子力発電所の建設が始まり、関係者の宿泊先として民宿が多数できました。たなべ旅館もその中の1つで、原発完成後も作業者の利用が途切れず、特に工夫しなくても確実に売上が上がる時代が続いていました。それが東日本大震災による原発の稼働停止で美浜原発も止まってしまい、宿泊者が激減しました。発電所がこんなに長期間止まることは過去に例がなく、宿泊者が来なくなるという経験がなかったので、しばらくすれば元に戻ると考えていました。実際、原発は稼働ではなく廃炉になったことでそれに関わる人の宿泊があり、売上も回復してきました。

ところが、今度は発電所関係者にコロナの感染者が出たことで作業が停止になり、宿泊者がいなくなってしまいました。このように原発関係の動向に常に左右される状況が続くのは辛いと感じるようになったそうです。

### お料理を切り口とした需要の開拓に挑む

5年ほど前からよろず支援拠点に相談に来られるようになり、他の民宿に比べて料理のレベルが高いので、それを武器にした展開を考えてみてはどうかという提案をしていました。建物の裏は海があるので、これを見ながらパーベキューをしたらよいのでは、ということで4年前に試験的に実施しました。25名程の参加があり、振る舞った料理の評判もよく、手応えを感じましたが、その頃はまだ廃炉関係の宿泊があり、それで手一杯だったため、特にPRもせずに時間が過ぎていきました。そんな中で、コロナの影響は思った以上に大きく、宿泊者がいない日が増えてきました。また、宿泊者の布団の上げ下ろしや掃除、朝夕食の準備は体力的にも厳しくなってきたこともあって、宿泊から飲食へウエートを変えることは急務だなと感じ始めたようです。相談に来られて何を切り口にしますかと尋ねると、嶺南には若狭ふぐがあつて、ふぐ調理免許もあるので、ふぐのフルコースを提供しようと考えているというこ



発送用のふぐフルコースセット

とでした。着眼点はよいので、これをどう展開するかが鍵です。手始めにテイクアウトや発送でふぐのフルコースを始め



黒トリュフを自分で好きなだけスライスしたふぐ鍋  
としてみることに、チラシも作ってPRを開始しました。思った以上に反響があり、発送数が増えてきたそうです。

### あの料理を食べようと わざわざ来てもらえる料理旅館を目指す

旅館も飲食店もお客さんが「行きたい」と思い、実際に行動を起こしてくれることでようやく売上が立つ事業です。行きたいと熱望されるような宿泊体験や料理、サービスがなければ来てもらえません。ふぐのフルコースは他の旅館でも出していますし、美味しいかどうかは食べてもらうまで理解されません。そこで、他にはないふぐ料理にすることを提案しました。特別な調理技術や設備が不要で、単価が取りやすく、関西などの都市部から集客しやすい、という観点から「黒トリュフをふんだんに使ったトリュフまみれのふぐのフルコース」にするという提案です。先日、県内の美食家を招いた試食会を行い、福井でもこんなに美味しいふぐが食べられるのかと感嘆してもらいました。これを積極的にPRして、美浜に来てもらう動きを積極的に進めることになりました。

これからは中期的な視点で、ここでしか味わえない料理を楽しむ旅館として変革していくことに挑戦することになりました。

### 相談者からのコメント

敦賀信金さんのご紹介で相談に伺って以来、何かあればまず相談に行くようにしています。

今回も他にないものを、ということで黒トリュフの提案があり、仕入先や器具など具体的な情報をもらったことで挑戦できました。

お申し込み・お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL: 0776-67-7402  
E-mail: yorozu@fisc.jp



# 注目企業



代表取締役社長  
川崎正寛氏

OPTO事業部オペレーション  
担当部長 堀井浩一氏

同社HPはコチラ!



## セーレンKST株式会社

所在地：福井市下六条町13-23  
代表者：川崎 正寛氏  
電話番号：0776-41-7333  
事業内容：半導体用、光通信用  
シリコンウェーハの成膜加工等



# 超小型光学エンジンの事業化で、 新しい地域産業の創出を目指す。

## セーレンKST株式会社

国内で唯一、半導体のプロセスサービスを専業で提供するセーレンKST株式会社。現在、福井県の『将来のふくいを牽引する技術開発支援事業』を活用し、福井大学などと共同で『世界最小フルカラーレーザー光源の量産技術開発』を進めています。その経緯と展望を、代表取締役社長 川崎正寛氏とOPTO事業部オペレーション担当部長 堀井浩一氏に伺いました。

### 厚膜熱酸化膜の量産で 世界シェア80%を獲得

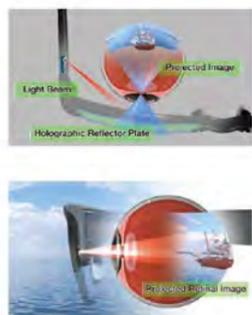
同社は、繊維製造業の川崎産業株式会社（現KBセーレン・DTY株式会社）が脱繊維を目指す社内ベンチャーとして、1998年にケイ・エス・ティ・ワールド株式会社として設立されました。日本・アジア初のシリコンウェーハ成膜専門メーカーとしてスタートし、2019年に東証一部企業のセーレングループに参画。昨年、社名をセーレンKSTに変更しました。「設立時には、日本全国から

半導体プロセスエンジニアや半導体工場建設経験者が福井に集合しました。翌年にはアメリカに新会社を設立し、現地企業から厚膜熱酸化膜の依頼を受けます。半導体業界などではウェーハ上への加工膜に薄さが追求されるのですが、当社は、他社が行わない新たな熱酸化膜加工による超厚膜化に挑み、均一で高品質な厚膜熱酸化膜の量産を実現しました」と当時を振り返る川崎社長。その新技術をアメリカの光通信展示会に出展すると、世界中の大手メーカーが多数集まり商談に結びついでいます。



光導波路を使った新しい光合波技術により実現した、4.8mm×11mm×3mmという世界最小サイズの超小型光学デバイス。

現在、光通信に欠かせない光合波器の基板や半導体デバイスの材料として、同社が手がける厚膜熱酸化膜ウェーハは、光通信市場で世界シェア80%を誇るまでに成長。半導体ウェーハプロセスサービスを中心に、スマートグラス



### セーレンKSTの光学エンジン

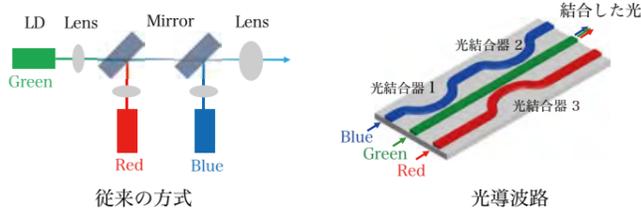


⇒ 網膜走査型ディスプレイに最適な光学エンジンを提供  
超小型光学エンジンを搭載したスマートグラスのイメージ図

### 超小型光学エンジンの 量産化・事業化を実現

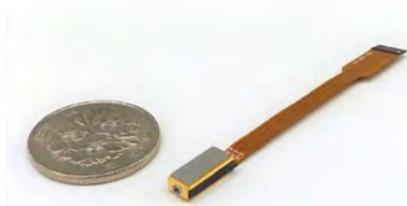
OPTO事業部は、福井大学が2017年度に文部科学省の事業採択を得た地域産業形成を目標に取り組み産学官連携プロジェクトに参加。『世界最小フルカラーレーザー光源の量産技術開発』として、

### 光導波路型のメリット



- 従来方式  
・部品点数が少ない  
・小型、軽量
- 光導波路  
・光軸合わせが少ない  
・信頼性が高い

光導波路型は、従来の方式と比べ部品数が少なく、小型・軽量化が可能になりました。また、振動・衝撃・熱による光軸ズレがなく、信頼性にも優れています。



100円玉と比べると、このように小さいです。

福井県の『平成30年度令和元年度 将来のふくいを牽引する技術開発支援事業』に採択され、補助金を活用してスマートグラス（眼鏡型ウェアラブル端末）に搭載する超小型の光源照射機（光学エンジン）の量産化の実現に取り組んでいます。福井大学は、10年前から勝山俊夫客員教授が学生と光制御技術の超小型化に着手。赤（R）・緑（G）・青（B）のレーザー光を、独自の合波器で1本に組み合わせる光導波路型で飛躍的な小型化に成功（イラスト参照）。微小電気機械（MEMS）ミラーで反射方向を制御する

ことで、ハイビジョン級の高品質の動画投影を可能にしています。プロジェクトでは、「福井大学の先行技術の改良と、当社の厚膜熱酸化膜で培った半導体製造技術による、量産化・事業化を実現するための技術開発に主軸を置いています」と言う堀井氏。量産化にあたっては「RGBレーザー光の位置合わせが、最大の難しさ。相当の技術力が必要でした」と難易度の高さを語ります。同社は、福井大学と製造販売契約を結び、2021年度にスマートグラス用などでの量産化を予定しています。

超小型光学エンジンを搭載したスマートグラスは、従来のように画面を見るのではなく、人体に影響のない微弱な光で網膜に直接映像を映すため、自然で目が疲れないAR（拡張現実）が可能になります。「小さく軽いので、眼鏡フレームに埋め込んでも違和感がなく、デザインの邪魔をしない。世界で一番かけ心地の良い眼鏡型ディスプレイになるでしょう」と胸を張る堀井氏。振動に強いなどの特徴から、今後は、車載アプリケーションのヘッドアップディスプレイをはじめ、医療・産業現場での作業ガイド、小型ドローン、アミューズメントなどへの展開を計画。さらに、ARによる視覚障がい者のサポートなど、さまざまな分野で活用が期待されています。

インターネットでヒト・モノ・コトがつながるIoT市場が世界的に拡大するなか、「光導波回路を一時の流行りではなく、世界のスタンダードにしたい。未来に向かって息の長い商品に育て、福井を日本のシリコンバレーのようなエリアにできればいいですね」と川崎社長は意欲を見せます。同プロジェクトには、眼鏡産地 鯖江市の大手メーカーも参画。グローバル市場を開拓し、福井の地域産業の発展につながる、将来への種まきが始まっています。



**2020年度グッドデザイン賞受賞**

女性用インナー [大転子ガードル、お腹スリムシェイパー]

／株式会社エル・ローズ

薄く軽くストレスフリーな生地感、かつしっかりと補整力を併せ持った特殊な生地開発を、創業45年の歴史と技術を持つレース生地メーカー株式会社ファスターと共同開発。1枚仕立てのパワー強弱を自由に表現できる設計のため、ボディパーツを思いのままにシェイプすることができます。一番のこだわりは、「締めたいところだけ締める」構造。ボディを広範囲に締めるのではなく、脂肪を下からすくい上げるような手の動きを実現させた機能です。1枚生地の中で編み分けているので、縫い目も段差もなくスムーズな履き心地。硬い生地が苦手な方や、締め付けの不快感を感じる方にも、快適に履いていただけるよう肌側はやさしく起毛かかったタッチで、全体は吸湿性、放湿性に優れたメッシュ地に仕上げました。高機能素材だからこそ、余計なものを省き、ユーザーが求める機能性が一番に伝わるシンプルなデザインにしました。

**【審査委員の評価】**

担当審査委員| 吉泉 聡 岡本 健 廣川 玉枝 本田 敬

経編の編み地にポリウレタンを編み込む製法で、他にない個性と機能を打ち出し、薄くて通気性にも優れている。ガードルとしての見た目もシンプルで美しく、仕上がりの完成度の高さが高く評価された。

**【DATA】**

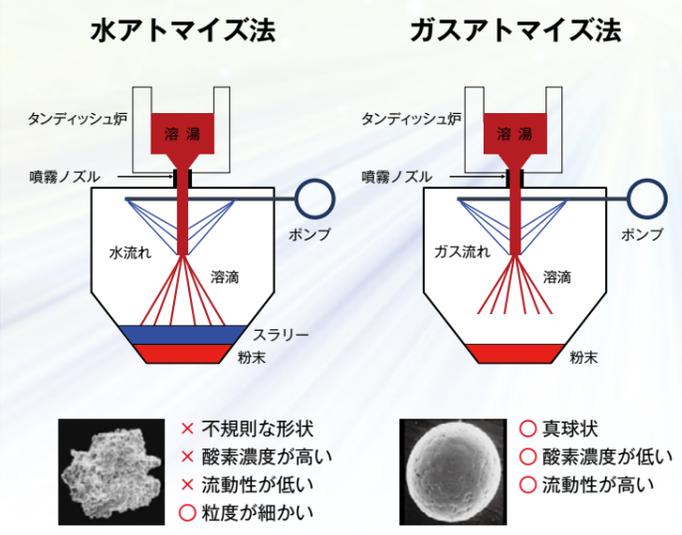
- プロデューサー 株式会社エル・ローズ 代表取締役社長 福田忠義
- ディレクター 同社 Eコマース事業部 五十嵐慎二、戸枝千絵
- デザイナー 同社 Eコマース事業部 中川めぐみ
- 仕様 大転子ガードル SIZE: 58、64、70、76 / COLOR: ブラック、ヌードベージュ
- お腹スリムシェイパー SIZE: S、M、L、LL / COLOR: チャコールグレー、ヌードベージュ
- 購入先 サンテラボ (<https://www.santelabo.jp>)

**次世代エレクトロニクスを支える  
金属微粉末の製造に向けて**  
～微量液滴アトマイズ法が切り開く金属粉体の世界～

大研化学製造販売株式会社

**アトマイズとは**

アトマイズとは、溶かした金属を気体や液体の高圧噴霧にて飛散させ、さらに、その液滴を凝固させて金属や合金の粉末を得る方法で、水アトマイズ、ガスアトマイズによる方法が一般的です。水はガスに比べて金属を粉砕し易く、ガスアトマイズに比べて、非常に安価で微細な金属粉末を得ることができますが、粒子形状が不規則になり易いのが欠点です。これらのアトマイズ技術は、金属粉末を大量合成する手法として利用されていますが、10μm以下の微粉末を得ることは困難です。次世代エレクトロニクスの分野では、微細化・高性能化を図るため、数μmの真球状で粒子径の揃った金属微粉末を大量合成する技術開発が求められています。



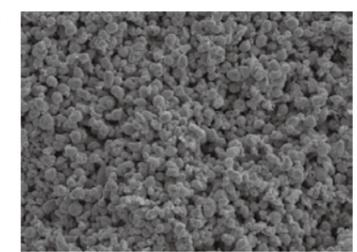
**微量液滴アトマイズ法による金属粉末の革新的製造技術開発**

参画機関：大研化学製造販売株式会社、大研化学工業株式会社、東北大学、産業技術総合研究所、福井県工業技術センター

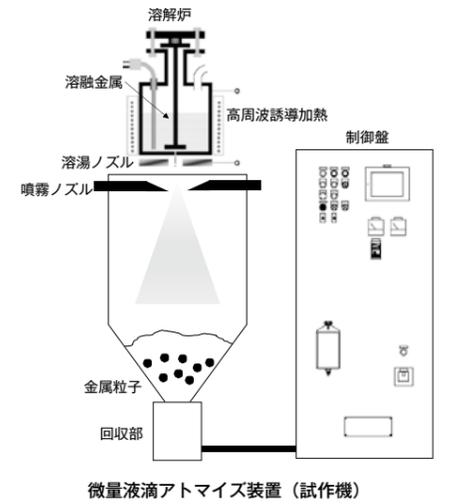
実施事業：令和2～4年度 経済産業省  
「戦略的基盤技術高度化支援事業（通称サポイン事業）」

従来のアトマイズ技術で金属微粉末を合成すると、粒径が大きい上に粒度のバラツキが大きく、粒子形状も不均一で、さらに、溶解炉材質からの異物混入による品質の劣化やノズル材質への異物付着が生産安定性を損ねるなどといった課題がありました。これらの課題を解決するため、水アトマイズ法を改良した小型設備を、流体力学シミュレーションを基に設計し、試作機を製作しました。現在、この試作機を活用して、微量液滴を制御する技術、熔融金属を高速噴霧できるノズルの設計、製造データのAI解析による品質評価技術の確立に取り組んでいます。

本事業で開発したアトマイズ技術によって合成された微粉末材料は、エレクトロニクス材料、環境材料、エネルギー材料、半導体材料、3Dプリンター材料など幅広い分野への展開が期待でき、これらの分野における著しい産業の発展に寄与できるものと考えております。



合成した銀粉末



微量液滴アトマイズ装置（試作機）

# IoTデビューしませんか? ～県内企業のIoT導入事例の紹介～

FUKUI  
AI Business  
OPEN Lab  
ふくいAIビジネス・オープンラボ

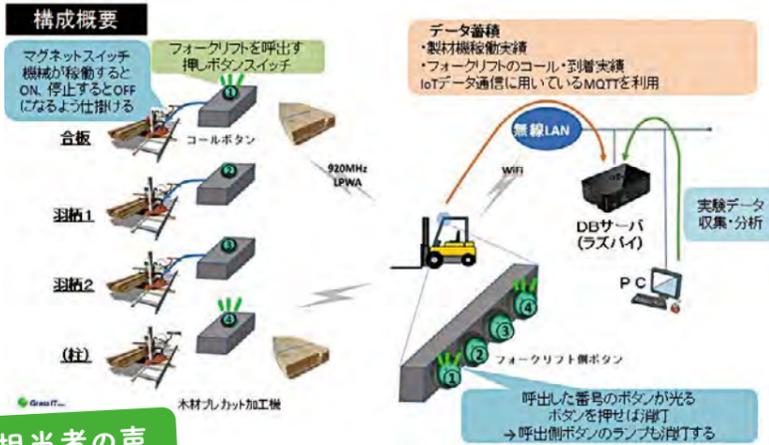
ふくいAIビジネス・オープンラボは、IoT・AI技術の導入支援や人材育成をご支援しています。  
ここではAIラボを活用した県内企業のIoT導入事例を紹介します。

## 木材の加工機稼働率アップを目的とした ワイヤレスコーリング&実績収集システム活用

当社では建築用木材のプレカット加工を行っています。最近では加工機の増設や加工ラインの複線化など増産体制整備を進めていますが、一部の加工機については稼働率が伸び悩んでいました。調査の結果、通常は加工機への材料の搬入と加工物の搬出はフォークリフトオペレーターが行うのですが、現状はフォークリフトの移動が加工機の作業のタイミングに間に合わず、加工機オペレーターが搬入搬出を代行せざるを得ない状態（この間加工機は停止）に陥っていました。

このことが加工機の稼働率を下げている原因と考えられたことから、これを解決するため「IoTを活用したワイヤレスコーリングシステム」を構築しました。このシステムを導入することにより、加工機オペレーターが必要なタイミングでフォークリフトを呼び出せると同時に、稼働実績データのクラウド上への蓄積ができるようになりました。

### 《導入機器》ワイヤレスコーリング&実績収集システム



### 担当者の声

現在、フォークリフト全4台のうち、1台をワイヤレスコーリング対応機として試験的に稼働していますが、すでに残業時間の削減に成功しています。今後は、十分な稼働試験を実施するとともに、蓄積した実績データの分析を進めることで、さらなる生産効率向上が期待できると感じています。

### お問い合わせ先

**クラシス株式会社** [建築資材販売業]

鯖江市下河端町1701 代表者 田中 陽介氏  
TEL:0778-54-8400 URL:https://www.crasis.co.jp  
E-mail:info@crasis.co.jp

### お問合せ

(公財) ふくい産業支援センター  
**ふくいAIビジネス・オープンラボ** (略称: AIラボ)  
TEL:0776-67-7404 E-mail:ailab@fisc.jp https://www.fukui-ailab.com

**開館** 平日および第2・4の土曜日  
**日時** 9:00～17:00 (12/29～1/3を除く)

# 令和3年度から産業支援センターの オンライン総合相談窓口がスタートします!



コロナ禍の影響もありテレワークなどの新しい働き方が中小企業においても急速に普及しつつあります。日常の業務の中で会議やコミュニケーションツールとしてZoomやTeamsなどを使っていらっしゃる場所も増えているようです。

ふくい産業支援センターでは、こうした環境変化に対応し、面談による相談をメインに開設してきた従来の総合相談窓口を「オンライン総合相談窓口」として、4月から運用を開始します。オンライン総合相談窓口では、ビデオ通話や電話、Eメール等

活用した相談対応をメインとして、遠方の方でも相談しやすい環境を整備していく予定です。

オンライン相談のメリットとしては産業支援センターまでの往復の手間と時間が省けるほか、ビデオ通話の画面共有機能を使えば、手元資料を共有しながら相談をすることもできるので、面談による相談と遜色ない相談対応が可能です。また、ちょっとした事でも電話やEメールで気軽にご相談いただくことができます。

パソコンや機械が苦手な方へは、従来通り面談によるご相談もお受けしますので  
下記「総合相談窓口」までお問い合わせください。

## 専門家派遣事業も内容が刷新されます!

大きな変更点は以下の2点です。

- 1日当たりの専門家への報酬と派遣回数の上限、企業の自己負担が変わります。**  
専門家への報酬は1日当たり2時間以上の指導助言に対して2万円(旅費込・税別)が上限となります。派遣回数は5回が上限となり、3回の派遣までは企業の自己負担なし、4回目以降の派遣に対しては企業に1/2の自己負担をいただく事となる予定です。
- 県が定める成果目標を達成するための指導助言のみが専門家派遣事業の対象となります。**

従来は申請企業が課題を設定し、課題解決に必要な専門家を選定して派遣を申請する形でしたが、新年度からは県があらかじめ設定した成果目標の達成に取り組む企業を対象に、専門家を派遣する形が変わります。専門家は成果目標毎に登録された専門家の中から企業に選定していただき、企業と専門家が一緒に派遣申請していただく予定です。

### 【派遣する成果目標の一例(予定)】

- 経営革新計画の作成
  - 事業継続力強化計画の作成
  - 創業時の事業計画書の作成 など
- ※正式な内容は後日、センターのHP等で公表します。

### お問い合わせ

**ふくい産業支援センター総合相談窓口** [事前予約制・相談無料]

TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

※右記のQRコードから総合相談窓口のコーディネーターの当番予定日や予約の状況をご確認いただくことができます。まずは、気軽にご相談ください。

総合相談窓口 ふくい Q 検索



## 令和3年度 人材育成研修受講者募集中

令和3年度中小企業産業大学校研修の年間カリキュラムが決定し、募集を開始しました！

本年度は研修プログラム41本を策定し、その内1/4の講座でオンライン研修を実施します。当大学校の研修プログラムを社員教育の一環として組み入れるなど、社内の人材育成にご活用ください。

研修内容の詳細を掲載した  
研修ガイドブックを、  
ご希望の方に無料で  
お届けしております！

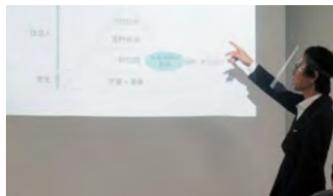


**締め切り間近の研修** 人気の講座がそろっています。お申し込みはお早めに！

### 新入・若手社員が知っておくべき 「モノづくり現場」の基礎知識

**日時** ●令和3年4月14日(水)  
9:30~16:30(6時間)  
**会場** ●福井県中小企業産業大学校  
**受講料** ●20,350円(消費税込)  
**対象者** ●技術系・製造系部門の新入社員・若手社員

- ◎製造業の基礎知識を学びたい方
- ◎新しく製造業の仕事に従事される方



#### 受講者の声

- モノづくり現場の基礎知識だけでなく、新入社員として必要なことも学べた。
- 演習を通して改めて意見を出すことの大切さと1人でできる物事の範囲を実感できた。

### 図面の読み方・描き方基礎講座

**日時** ●令和3年5月11日(火)  
9:30~16:30(6時間)  
**会場** ●福井県中小企業産業大学校  
**受講料** ●20,350円(消費税込)  
**対象者** ●技術系・製造系企業の新入社員・若手社員・アシスタントの方等

- ◎営業スタッフ、営業事務として基礎的な図面の読み方を身につけたい方
- ◎文系出身で苦手意識がある、これまで基礎を学ぶ機会がなかったという方



#### 受講者の声

- 営業事務で図面を見る機会が多かったが、初心者でも分かりやすく理解できた。
- 実物(木片・軸・フランジ)を用意していただいたので、理解しやすかった。

### 一部研修でオンライン研修を実施します！

- ①Zoomによるフォローアップ研修を実施します。  
→「自発的考動」を引き出す育成スキル強化セミナー
- ②一部研修でオンラインでの同時開催を行います。  
→企業価値を高めるSDGsビジネス実践セミナー
  - OJTを成功させる指示の出し方・報連相のさせ方・受け方
  - ビジネス心理学で学ぶマーケティングとプライシング
  - 決算書の読みこなし方と経営分析のポイント
  - ISO9001内部監査員養成講座(1日目のみ)
  - ISO14001内部監査員養成講座(1日目のみ)
- ③講座をライブ配信します。  
→公開講座



ホームページからも申込みOK  
<https://www.fisc.jp/fiib/course.html/>

#### お申し込み・お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 人材育成部  
〒918-8135 福井市下六条町16-15  
TEL 0776-41-3775(研修担当) e-mail manabi@fisc.jp

## 令和3年度 IT研修受講者募集中

令和3年度IT研修の年間カリキュラムが決定し、募集を開始しました！今回はコロナ禍への対応として、集合研修以外にオンライン(ZOOM)で受講できる講座を増やしました。年間80回を超える本研修を貴社の人材育成にぜひお役立てください。

研修内容の詳細を掲載した  
研修ガイドブックを、  
ご希望の方に無料で  
お届けしております！



**4月開催の研修** ほかに人気の講座がそろっています。お申し込みはお早めに！

### Illustrator入門 ~これから始める方のための初歩の初歩~

Illustratorの基本をゆっくり分かりやすく解説する講座。実際にソフトを操作しながら進めていきますので、初めての方でも安心の講座です。  
※「Photoshop入門」も4/23(金)開催。あわせてご検討ください。

**日時** ●令和3年4月16日(金)  
9:00~17:00  
**会場** ●福井県産業情報センター  
**受講料** ●7,370円(税込・テキスト料込)  
**定員** ●12名



### MS-Excel2016基礎 ~基本操作からグラフの作成、データベースの利用まで~

MS-Excelの基本操作を身に付けたい方を対象としたコース。表の編集、四則演算と基本の関数、グラフなど、実務で活用できるスキルを2日間でしっかり習得します。事務職の新人研修におすすめです！

**日時** ●令和3年4月27日(火)~28日(水)  
9:00~17:00  
**会場** ●福井県産業情報センター  
**受講料** ●11,220円(税込・テキスト料込)  
**定員** ●12名



### 【注目の新講座】

- スマホ & SNS時代の企業採用活動の新常識
- Adobe Premiere Pro、Adobe After Effectsで学ぶビジネス動画制作入門
- YouTubeで稼ぐ！スマホ動画作成 & ライブ配信実践講座【iPhone編・Android編】
- WordPressデザイン基礎



ホームページからも申込みOK  
<https://www.fisc.jp/pckuoza>

#### お申し込み・お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 新産業支援部  
〒910-0296 坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16  
TEL 0776-67-7411(IT研修担当) Email ebiz-g@fisc.jp

情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に！  
「ふくいナビーふくいの企業支援施策を見つけるためのポータルサイト」  
をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。

「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる！

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

メルマガ、メーリングリストなどを無料で提供！

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

県内企業の情報を自ら発信！

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。



毎週月曜日、「ふくいナビ」の情報の中からタイムリーな情報をお届けするメールマガジン『週刊!ふくいナビ情報』を配信しています。配信をご希望の方はメールアドレスをご登録ください。

お問い合わせ先 ふくいナビ運営事務局  
[(公財)ふくい産業支援センター 総務部]  
TEL.0776-67-7414 E-mail info@fukui-navi.gr.jp



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！  
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号  
VOL.47 5月25日発行予定

チラシ提出締切日：5月14日  
チラシ1,700部をご提出  
(持参または配送) 願います。

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税抜)
A 4判以下のチラシ	6,000円
A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,000円
A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当  
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>  
総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp  
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を  
お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、  
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、  
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、  
「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。コロナ禍で1号分休刊するというスタートになった今年度が、いよいよ終わりを迎えます。

令和3年度から当センターとしては、デジタル技術やデータを駆使してビジネスモデルを変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)への対応を支援するため、「ふくいA1ビジネス・オープンラボ」を「DXオープンラボ」に刷新します。また、従来の相談窓口をオンライン化し、リモートでの相談も対応できるようにします。どうぞご利用ください。

さて、今回の特集は「中小企業経営者必見!!～意外と知らない補助金事情～」をテーマに組ませていただきました。補助金担当者と採択企業を交えて、補助金に関する話を書かせていただきました。取材の中で、補助金のデメリット部分を経験し、全員が「大変だった」と答えた一方で、「次回も出来れば活用したい」とも答えています。補助金に資金調達以外の魅力を感じているのは間違いありません。次号の発行は5月25日です。



株式会社漆琳堂

老舗塗師屋が威厳を残した現代風リニューアル

1793(寛政5)年の創業以来、越前漆器を作り続けている株式会社漆琳堂。赤と黒の伝統的な漆器をはじめ、若い人をターゲットとしたポップなカラーの自社ブランド「aisomo cosomo」や「RIN&CO.」を立ち上げることで幅広い年代での漆器利用者拡大に取り組んでいます。

そんな同社が2021年1月20日に、見学やワークショップも行っている工場兼ショップ(直営店)をリニューアルさせました。2023年に北陸新幹線福井県開通を見据え、産地体験イベント「RENEW(リニュー)」などを通して、継続的に県内外の観光客を呼び込むのが狙いです。リニューアル前の白を基調とした色から、スタイリッシュで精悍な黒色にリニューアルした外観は、伝統的でありながら工場らしさが感じられ、「うるしの里会館」から見える大きなサインも特徴的です。

同社で製造したものを直接購入することができる直営店は今年で5周年を迎え、販売スペースも拡充しました。コロナ禍でも土日を中心に観光客が訪れ、今後は修学旅行や産業観光ツアー先としても利用される予定です。「たくさんのお客様にご来店いただき、3密を避ける上で売り場スペースの拡大が必要だったので今回改装に至りました。弊社だけで完結するのではなく、河和田を丸ごとご紹介する『産地観光ハブ』としても貢献できたいと思っています」と8代目内田徹さんは語ります。

福井県を代表する工芸品「越前漆器」の工房へぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

活用事業：令和2年度 ふくいの老舗逸品承継発展事業



↓インスタはコチラ!



自社ブランド(RIN&CO.)  
インスタも更新中です!



株式会社漆琳堂  
住所：鯖江市西袋町701  
mail info@shitsurindo.com  
漆琳堂直営店  
住所：同社内  
営業時間：10時～17時  
不定休(カレンダー・SNS要確認)

話題の  
新スポット巡礼  
No.18

県内企業が打ち出した気になる新スポットに、(C)編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

## 商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

### 01.

#### 全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、  
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の縁結びをサポートします。

### 02.

#### 組合支援

中小企業組合の活動を、  
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

### 03.

#### 海外展開支援

海外進出を、情報と金融で  
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

福井支店 〒910-0005 福井市大手3-14-9 TEL:0776(23)2090

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金